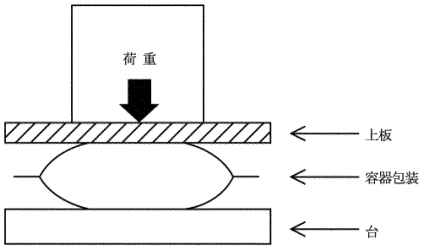
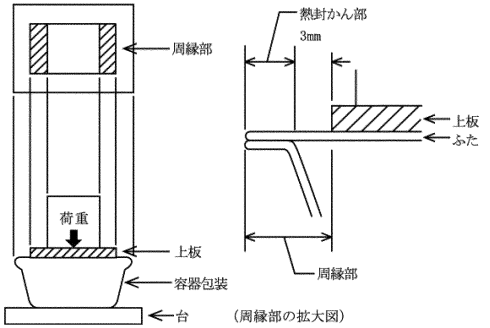
A　図



B　図



（周縁部の拡大図）

第１欄		第２欄
	100ｇ未満	20kg
100ｇ以上	400ｇ未満	40kg
400ｇ以上	2,000ｇ未満	60kg
2,000ｇ以上		80kg

耐減圧試験

密栓又は密封した容器包装に真空度計の針を差し込み，空気漏れがないように固定し，これを真空ポンプに接続する。次に，真空ポンプを作動させて26.7kPaまで減圧を行い，空気漏れの有無を調べる。

突き刺し強度試験

試料を固定し，試料面に直径1.0㎜，先端形状半径0.5㎜の半円形の針を毎分50±５㎜の速度で突き刺し，針が貫通するまでの最大荷重を測定する。

内圧強度試験

内容物又は水を満たし密封した容器包装に針を差し込み，空気漏れがないように固定し，これに圧力計及び圧縮機を接続する。次に圧縮機を作動させ，毎分１±0.2Ｌの流量で空気を送入し，容器包装が破裂したときの最大圧力を読み取る。

熱封かん強度試験

密封した容器包装の熱封かんした部分を次の図のように切りとつて開き，その開いた両端を毎分300±20㎜の速度で引つ張り，熱封かん部がはく離するまでの最大荷重を測定する。